

# 子どもたちと一緒にSDGsを学ぶ

子どもたちの休日を利用して一緒にSDGsにかかわる取り組みをしました。  
SDGsは、地球規模で考える人権と環境問題です。「誰一人取り残さない」と言う大きな目標のもと、持続可能な取り組みをしていきます。



この日は、赤碕の海へ出かけ浜辺に漂着してきたゴミ拾いを行いました。日差しの強い日でしたが、子どもたちは指導者の岩田弘さんと一緒に汗を流し、環境問題を考えるいい機会となりました。午後は流木を利用した和紙灯籠づくりを体験しました。最後まで頑張った一日となりました

最初は、砂浜にゴミがあったけど、みんなでゴミを取ったので良かったです。外国から来るなんてびっくりしました。

ぼくは海のゴミ拾いをしました。浜辺がきれいになりました。ゴミを捨ててはいけなかったと思いました。

海のゴミ拾いに行ったら、あまりないと思ってたけどいっぱいあったびっくりしました。



流木を使った和紙灯籠



# ますな

倉吉市人権文化センターだより

2022年10月1日 発行 No. 141号  
発行所：倉吉市人権文化センター  
住所：倉吉市鍛冶町1丁目2971-2  
電話/FAX：0858-22-4768  
メールアドレス：jinkenbunka@ncn-k.net



## 2022年度 We hold Japanese Study Group

### 「日本語学習会」後期開催中

ひとりりかいどあ ていねい がくしゅう すす  
一人ひとりの理解度に合わせて丁寧に学習を進めています。

かいじょう さんか でき ひと かんせんよぼう がくしゅう  
会場に参加出来ない人やコロナウイルス感染予防のためリモート学習

じっし じたく あんしん がくしゅう きがる そうだん くだ  
も実施しています。自宅から安心して学習できますので気軽に相談して下さい。費用は無料です。



\*開催日は水曜日(Wednesday)  
TIME：19：30～21：00  
PLACE：倉吉市人権文化センター  
(お子様と一緒に参加出来ます)

☎・FAX 0858-22-4768

10月 (October)		11月 (November)		12月 Decamber	1月 (January)	2月 (February)	3月 (March)	
12日	26日	9日	30日	14日	11日	8日	8日	22日

# 障がい者問題を考える



「障がい」と聞いて何をイメージしますか？

車椅子を使っている、白い杖を使用している、手や足が不自由である、耳が聞こえないしゃべれない、その他にも障がいには外見では分からないもっといろいろなものがあります。

では、内面的なことはどうでしょうか。見えないから何も出来ないだろう、聞こえないから理解出来ないだろう、車椅子だから何も出来ないだろう…こんなことを思ったことはありませんか。

障がいは生まれた時からある人もいれば、途中でケガや病気、不慮の事故などさまざまな理由によって障がい者になる人もいます。

しかし、障がいがあってもスポーツで活躍している人、音楽や絵画、書道などさまざまな分野で、すばらしい才能を発揮している人もたくさんいます。

障がいの有無に関わらず、自分のやりたいことが出来るように、地域や周りの人が、助け合い、理解し合うことがとても大切です。

障がいのある人が社会の中で生きづらくなったり、困難に直面する原因は、社会の仕組みや一人ひとりの考え方や言動の中にあります。

家庭の中で、子どもたちが幼いときから人を大切にしていける教育を進めていくことが何よりも大切なのではないのでしょうか。

しょうがいしゃさべつかいしょうほう ごうりてきはいりよ ていきょうぎむ  
障 害 者 差 別 解 消 法 ( 合 理 的 配 慮 の 提 供 義 務 )

内閣府より

一人ひとりの人格と個性を尊重し支え合う「共生社会」の実現をめざして法律が制定されました。

障害者差別解消法は、全ての国民が、障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互にその人自身の人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、平成25年6月に制定、その法律の中で『合理的配慮の提供義務』が求められています。

障がいのある方は、社会がつくり出した「バリア」によって生活しづらい場合があります。

その「バリア」を取り除くために、何らかの対応を必要としているという意思が伝えられたときに、負担が重すぎない範囲で対応することが求められます。

その内容は、障がいの特性や、それぞれの場面・状況に応じて異なります。

## 私たちに出来ることを考えてみましょう！

### □ 視覚障害 「見る・見える」の障がいです

- 声をかけるときは**正面**から近づき、あいさつをしましょう。
- 道案内の際は、**わかりやすく具体的に**伝えましょう  
例…「5mほど前にレジがあります」など、数字や左右を伝えると分かりやすいです
- 移動は肩や腕を利用し歩く速度を障がい者に合わせましょう。

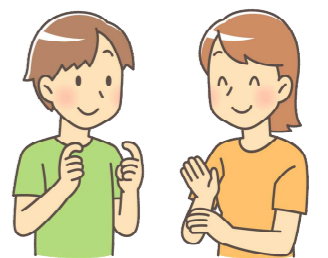
### ☆白杖(はくじょう)SOSシグナル

目の不自由な方は白杖という白い杖を使われて移動をされる方もいます。  
その杖を頭上50センチ程度に掲げられていたら「今、困っています」というサインです。正面から声をかけ、何に困っておられるのかを聞いてからサポートを行いましょう。  
このサインを出しておられなくても、困っていそうな方を見かけたら、まずは声をかけてみましょう。



### □ 聴覚障害 「聞こえる」ことに関する障がいです

- ジェスチャーを使いながら、口を大きく開けて、ゆっくりと話す
- 困っていそうな方には**正面**から、合図を送ったり、ゆっくり声をかけてみましょう



### □ 手や足が不自由な方

- 優先駐車スペースは身体の不自由な方や妊婦さんなどが使われます。特別な事情がない限り、駐めないようにしましょう。
- 困っていそうな方がいたら、「どうされましたか」と声をかけ、**何に困っておられるのか**、介助が必要な場合、**どのように介助をするか**を聞いてから、サポートを行いましょう



障がいのある人に対する軽率な行動や言動はやめましょう。

- 点字ブロックには通行の邪魔になるものを置かないようにしましょう。
- 障がいのある人を指さすような行為はしてはいけません。
- 障がいのある方を焦らせるような言動は絶対にやめましょう。
- 困っている人を見かけたら、見て見ぬふりをせず、声をかけましょう。

